

夏休みのくらし方

夏休みは、子どもが家庭や地域での生活を通して、心身を鍛え、自主的な生活態度を養うのによい機会です。そこで、具体的には次のようなことを指導しています。ご家庭の協力をお願いいたします。

生活

きそくただ せいかつ
規則正しい生活をする

- 朝10時までは、外出したり、反だちをさそったりしない。
- 夏（4月～9月）：5時以降は遊びをやめ、6時には家に帰しておく。
※夏は6時以降には、子どもだけでは外出しない。
- ※夏まつりなど帰宅が遅くなる場合は必ず保護者と一緒に参加する。
- ※習い事の帰宅時間を守り、6時以降になる場合は保護者と一緒に帰宅する。
- 食生活に気をつけ、手洗いやうがいをし、病気の予防をする。
- 体力に応じた運動を積極的に行う。
- 帽子の着用や運動の時間帯に気をつけ、十分な休養をとる。
- 家族の一員として、家の人と相談して自分にできる仕事を進んでする。
- 室内でもしっかり水分をとり、熱中症に気をつける。



学習

すす かくしゅう
進んで学習をする

- 自分に合った計画を立て、得意なことを伸ばし、不得意なことを補う。
- 継続的な勉強（観察記録・飼育・採集）や読書・作文・日記などに挑戦する。



外出

やくそく まも こうどう
約束を守って行動する

- 外出するときには、「いつ・どこで・誰と・何をしに・いつ帰る」を家の人に伝えて外出する。家の人がいないときはメモに残す。
- ゲームコーナー・映画館・飲食店・ボウリング場・カラオケボックスへは、子どもだけで行かない。
- ゲームセンターは、大人と一緒にでも行かない。
- 用がないのに、コンビニやスーパーマーケットなどのお店には行かない。
- 校区外に子どもだけで行かない。

ふしんしゃ ふしんでんわ ぼうりやくこうい
不審者や不審電話、暴力行為などの
被害や情報があった場合
じこ ばあい
事故などが起きた場合

まよ れんらく
迷わず連絡

春日警察署 580-0110
白木原交番 582-9234
大利小学校 596-3092
大野城市役所 501-2211

安全

じこ から み まも
事故から身を守る

★交通安全★

- 路上や駐車場では危険なので遊ばない。
- 正しい歩行と道路の横断に気をつける。
- 踏切は、警報機に気をつけ、1列ですばやく通る。
- 自転車は、自分の体に合ったもので安全なものに乗り、道路の左側を通る。
- 自転車の「二人乗り」や「手放し」などの危険な乗り方をしない。
- 夜は自転車に乗らない。ただし、習い事などで必要な場合には、家の人に許可をもらって乗る。必ずライトをつける。
- 1～3年は、道路で自転車に乗らない。（公園や広場などの安全な場所で乗りましょう。）
- アンダーパスを通ったり、踏切を渡ったりする時は、自転車から降りておして歩く。



★危険な遊びの禁止★

- ブレイブボード・キャスターボードなどのボード類・ボール遊びなどは道路でしない。
- 水路や川、池に入ったり、石やごみを投げ込んだりして遊ばない。
→平田川や御笠川は急な増水があるので絶対に中に入らず遊ばない。近づかない。
- 踏切や線路では絶対に遊ばない。
- マンションやビルのエレベーター、階段、屋上、駐車場では遊ばない。
- エレベーターでは、知らない人と二人きりにならないようにする。
- 人通りの少ない空き地や公園、神社などでの一人遊びはしない。
- エアーガンなど、きけんなおもちゃで遊ばない。
- 火遊びをしない。（軽い気持ちですると、大事件になります。絶対にしません。）
- カードやお菓子、お金など、物の交換や貸し借りは絶対にしない。

その他

- 学校に用があるときは、必ず先生に用件を伝えて入る。
- 知らない人からの電話に気をつける。
→どんな場合でも反だちの名前・住所・電話番号を教えない。
- 公園や神社などでは、近所の迷惑にならないように遊ぶ。
- 神社の中には土足で上がらない。
- 不審者に遭遇した時は、逃げる・大声を出す・110番の家に駆け込むなどの行動をとる。→「イカのおすし」の確認をしておく。
- 立ち入り禁止の場所に入らない。



イカのおすし

いかない のらない おお声をあげる すぐにげる しらせる